

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店の直近3か月の売上高は前年同期比で見ると96.6%が99.0%と2.4ポイント良くなっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・入場者数はかなり増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の通行量は増加しているが、来店し購入するまでには至っていない。
			来客数の動き	・地方の中心市街地では来客数の通行量調査の数字の減少が止まらず、直近で増加する要素も見いだせない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・初売りは人出が多く、成人の日も新成人が着物で商店街内を行き交い、かなり華やかさがあったが、それ以降は急激に通行量が減少している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月比で来客数は大幅に増加し、売上高も増加した。ブランド商品・紳士用品及び催事の関係で食品等が前年比で増加したが、ファッション関連商品が苦戦している。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・生活必需品のうち一部の高額商品で動きが見られるが、それ以外で、趣味などに関する高額品の売行きが、ここ2、3か月止まっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客の動きには変化が見られないが、暖冬のため冬物があまり売れておらず、単価も低下している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・年明けの年始商品である福袋・お年賀ギフトなどの動きに目立った変化は見られない。成人の日の商品・頑張り受験生関連商品の販売数、単価なども目立った変化は見られない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年比で増加しているが、買上点数が増加していない。加えて、野菜については暖冬で単価が安い上に、買上点数が増加していない。
		スーパー（予算担当）	お客様の様子	・正月の一時的な売上増加はあったが、暖冬の影響があり衣料品全般の動きが悪い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・出店が増加しており、1店舗当たりの売上は低下傾向であるが、前年比でみた場合、ここ何か月は落ち着き感がでており、客の様子をみてもあまり変化が見られない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暖冬により、特にレディースのジーンズが例年に比べて非常に厳しい状態になっているが、元旦から10日ぐらいまでは出足が非常に好調であったため、売上は伸びている。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・全体的に先月と同じような動きになっているが、来店数の回復の兆しは多少なりともあったように思える。このことは、多少でも今後の販売に結び付けられるのではないかと思う。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・年明けから来客数は若干増加しているが、販売量は増えていない。客の様子から、検討中の客は多いが、買換えについては慎重な態度で商談をしている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・近隣の商店街では、シャッターを下ろしているところがだんだんと増加しているが、飲食店だけは新たに店舗が増加している。夜の人口は減少しているのに、ますます競争が厳しくなっている。
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・低価格での受注競争が継続しており、給与カットや希望退職等の手だてをしている競争相手も少くない。	
	その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・客との会話から、景気が良くなったから商品を購入するというのではなく、単純に必要に迫られたから購入しようとしていることが分かる。	
	やや悪くなっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・同業者の話から、例年になく今年の売上の落ち込みがひどく、市場の単価も低下し、販売数は同じでも値段が安く厳しい状況が続いていると聞いている。
一般小売店〔酒類〕（経営者）		販売量の動き	・市内の中食事業者は元気が良いが、外食産業は苦戦が続いている。個人の出費を控えるムードが続いており、自宅で飲む傾向が強くなっている。	

	スーパー（統括担当）	単価の動き	・単価が95%ぐらいに落ちている。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・セール月であるが、売上に前年までのような勢いがなく低調に推移している。中旬以降の再値下げに対しても同様であり、最終的には冬物セールは前年同期比1割近く下回りそうである。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数が前年比でマイナスである。	
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・月初めは客の出入りも多く、販売量も増加したが、3週目に入った時点で、いつもの状態に戻った。	
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・1月は初売りから前年を下回る状況であり、最終的に受注状況は前年比85%程度となり、前年を割り込んでいる。	
	その他専門店〔CD〕（店員）	来客数の動き	・ヒット商品が出ていないことが原因で来店客も減少し、全体的に活気が出て来なくなっている。	
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・11月ごろまでは、来客数が増加していたが、12～1月は宿泊客が減少している。正月明けの1週間は良かったが、それ以降客が全体的に減少している。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新年が明けて消費がかなり伸び悩んでおり、来客数の動きも悪く、販売単価も伸びない。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・1月は閑散期であり、売上は落ち込む。特に、今年は暖冬で積雪も少なく、スキー旅行も低調である。定期的に個人旅行はもちろん地域の婦人会、消防団等の団体旅行も減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年1月は客の出が良くない。最近では新年会がほとんど無くなっており、夜に飲みに出る人が少ないため、夜の仕事は暇である。単価的にも、近距離の客が多いため売上が伸びない。	
	美容室（経営者）	単価の動き	・年末は消費意識が高めだったため客単価が高くなってはいたが、年が明けて反動により単価が下がっている。	
	悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・新年会による需要は、1月の曜日並びの関係で今年は8日（成人の日）で終了し、その後は通常月と変わらない販売量である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の話から、マンションの建設は増えているが、高知県にお金が落ちていない状況であり、高知県は建設業界等の失業者が約8千人増加している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・共同企業体ではあるが、大型案件が獲得でき、受注面では最悪の時期を脱出した。しかし収益面ではあまり期待できない。
		通信業（営業担当）	それ以外	・家電量販店のマネージャーとの会話の中に薄型TVは引き続き売行きが好調で、白物家電も高額、高機能な商品が売れており、個人消費が徐々に回復していると実感出来るなどの声を聞く機会が増えている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部に受注が増加しているところもあるが、全般的には消費は上向いているとは言えない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・関東地区では年末から年始にかけて、例年以上にクレーンの稼働率は高い。西日本地区においても繁忙状態が継続中。引き合いも活発で、良好なマインドを維持している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・正月明け、稼働日数が少ない割には受注が堅調である。鉄鋼関係の好調さや期末対策による受注の先行投資的な要因もあった。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備を良くする企業としない企業との格差があり、それぞれ半々だという感じがする。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・同業他社も同様であるが、例年この時期は初荷の2～3日を除けば、物量は減少する。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・直近半年の物流動向は、取扱量については一進一退であり、景気拡大に向けた力強さは感じられない。特に12月のお歳暮商戦期におけるギフトを中心とした商品貨物量もほぼ横ばいであった。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の客の試算表、決算書等をみると、改善されている企業が非常に少ない。前年比でマイナスの売上のところが過半数である。

	やや悪くなっている	金融業（融資担当）	取引先の様子	・県外取引が多い一部製造業者を除き、県内に主力をおく各業種の取引先は、受注残高、単価とも振るわず、引き続き厳しい状況が続いている。
	悪くなっている	食料品製造業（従業員） 木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き 競争相手の様子	・今年になって、末端での販売、回転が非常に悪く、売れていない。 ・年始行事による一服感が出ており、原油に端を發した原材料の高騰も影響している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・景気は少しずつ回復傾向であるため、雇用面において活性化しているが、求職者数、派遣登録者数が減少しているため、少し苦戦を強いられている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・中途の即戦力採用は横ばいであるが、新卒採用枠は増加している。長年採用を控えていた企業が再開するなど、新卒募集広告関連への受注が増加している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・周辺の地域密着企業が年末に求人控えていた分、春先のこの時期に増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣社員の要望は引き続き前年並みであるが、既存社員の退職等に伴うものばかりであり、総労働者数は伸びていない。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・新規求人数、有効求人数とも、前年同月比で増加しているものの、正規労働者の求人数はほとんど伸びていない。
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・例年、年末年始は求職者が増加傾向にあるが、今年は求職者数が前年比で若干減少している。要因としては、賞与等の年末手当が増額になったため離職者が少なくなったものと考えられる。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・最近、夜間にタクシーや代行運転を利用しているが、運転手から暇であることを聞く。飲食店やレストランなどでお金を使う人もますます減ってきている。
職業安定所（職員）		採用者数の動き	・54歳未満の求職者が減少し、55歳以上の求職者は増加している。それに伴い就職者数が減少している。	
	悪くなっている	-	-	-